

# 「検診目的の MRCP 受診者に関する後方視的検討」について

平成 27 年 10 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日の間に、短期人間ドック、膵ドック受診者で MRCP および腹部超音波検査を受けられた患者様へ

研究機関 獨協医科大学病院 健康管理科  
研究責任者 知花洋子  
研究分担者 渡邊菜穂美

このたび獨協医科大学病院 健康管理科では、短期人間ドック、膵ドック受診者で MRCP、腹部超音波検査を受けられた患者様の診療情報を用いた研究を実施しております。この研究を実施することによる患者様への新たな負担は一切ありません。また、患者様のプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。

受診者の方で試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には、担当医師にご連絡ください。

## 1. 研究の目的 及び 意義

日本では膵癌の罹患率は増加していますが、進行癌で発見される例が多く、検診での早期発見は困難です。膵癌、胆管癌の早期診断を目的に、人間ドックのオプション検査として 2015 年 10 月より 腹部 MRI、MRCP 検査を加えたため、腹部超音波検査との診断と併せて検討します。無症状症例の膵病変、胆道系疾患の早期発見に関する MRCP の役割を検討します。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

平成 27 年 10 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日の間に獨協医科大学病院 健康管理科において、短期人間ドックおよび膵ドック受診者で MRCP 腹部超音波検査を受けられた方を対象とする予定です。

### 2) 研究実施期間

平成 29 年 1 月 26 日 ～ 平成 32 年 3 月 31 日

(登録期間：平成 29 年 1 月 26 日 ～ 平成 32 年 3 月 31 日)

### 3) 研究方法

MRCP では腹部超音波のみでは診断が困難な膵腫瘍、膵管内乳頭粘液性腫瘍 (Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm: IPMN)、胆管性過誤腫、胆管周囲嚢胞、膵胆管合流異常などが診断されます。腹部超音波検査の診断と MRCP 診断の精度の違いを検討します。また MRCP で異常が指摘された症例と、膵、胆管に所見を認めない症例の性別、身長、BMI、腹囲、血圧、血算、生化学検査など臨床血液学的諸検査との比較検討を行います。

### 4) 使用する試料・情報

#### ◇ 研究に使用する試料・情報

検診時にされた MRCP 検査所見と腹部超音波所見と採血データの情報です。なお、患者様の個人情報 は匿名化し、プライバシーの保護には細心の注意を払います。

## 5) 試料・情報の保存

本研究で使用した試料・情報は、研究終了後 10 年間保存いたします。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、獨協医科大学健康管理科のホームページでお知らせいたします。

## 6) 研究計画書の開示

患者様のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧することができます。

## 7) 研究成果の取扱い

この研究の成果は、患者様のデータを個人情報、会社名や団体名などが一切わからない形にした上で、学会や論文で発表する予定ですのでご了解ください。

## 8) 問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、患者様の検診の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、平成 32 年 3 月 31 日までに下記にお申し出ください。健診の情報の使用を断られても患者様に不利益が生じることはありません。

獨協医科大学病院 健康管理科

研究担当医師 知花 洋子

連絡先 0282-86-1111 内線 2778 (月、水、金：13 時～15 時 30 分)